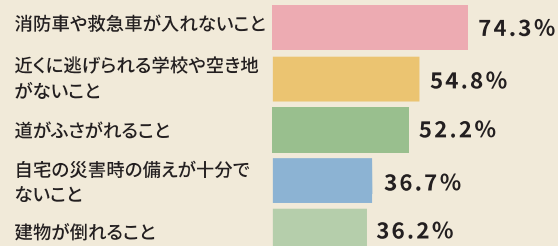
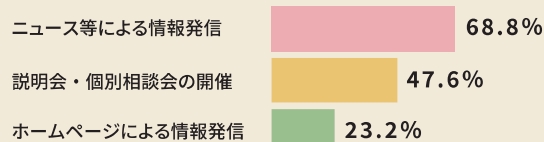


大地震が起こった時に心配なこと (上位5つ)



多くの方が、消防車などが入れないこと、逃げ場所や道路のことなどについて心配されていました。

防災まちづくりに関する助成等の情報を得るために練馬区に望む対応 (上位3つ)



ニュースのほか、説明会などによる情報提供への期待が高いことが分かりました。

防災まちづくり事業に期待している取組み (上位3つ)



イベントでの周知啓発や各種助成について、期待の声が多く寄せられました。

防災まちづくり Q & A

ここでは、ワークショップやアンケートを通して寄せられた主なご質問と、区の考え方等をご紹介します。



なぜ『防災まちづくり推進地区』に指定されたの？

燃えやすい建物の密度や空地の少なさ等の指標を検証した結果、防災性の向上に取り組む必要がある地区として指定しました。なお、指定期間は令和6年度までの5年間です。



「避難拠点」について教えてください。

大地震発生時の避難場所、防災活動の拠点として区立小中学校 98 校が指定されています。区や学校の職員と地域の方々で運営され、水、食料などの備蓄があり、避難生活を支えます。居住地による避難先の指定はありません。



地域の防災性向上のための個人への支援制度は？

古い建物の除却、狭い道路の拡幅、危険なブロック塀等の撤去等に対して助成や支援の制度があります。詳しくは、防災まちづくり課までお問い合わせください。



お問い合わせ先

練馬区 都市整備部 防災まちづくり課 防災まちづくり担当係 (本庁舎 15 階)

〒 176-8501 練馬区豊玉北 6 丁目 12 番 1 号

電話：03-5984-1303 FAX：03-5984-1225 E-mail：BOUMACHI@city.nerima.tokyo.jp

※このお知らせは「富士見台駅南側地区」内にお住いのみなさまに配布するほか、土地・建物の所有者様に郵送（登記簿上の住所）させていただいております。「富士見台駅南側地区」内で、お住いの住戸の所有者様が別にいらっしゃる場合、お知らせが届いていない可能性があるため（登記簿上の住所以外にお住まいの場合等）、お手数ですが所有者様にもお知らせくださいますようお願いいたします。



「防災まちづくり事業」のホームページはこちら

防災まちづくりニュース

第3号
富士見台駅
南側地区版
令和3年
(2021年)
2月発行

防災まちづくりアンケートの結果をお知らせします

昨年、地域の皆さまを対象に「防災まちづくりアンケート」を実施しました。アンケート結果を基に、12月に開催したワークショップ（下段参照）で意見交換を行うなど、防災まちづくりの取り組みへの参考となる貴重なご意見を得ることができました。次ページ以降にて、集約した結果をご紹介します。

アンケートにご協力いただいた皆さま、まことにありがとうございました。

アンケートの概要

配布数：3808票
回収数：712票（男性：56.1% 女性：43.9%）
回収率：18.7%
実施期間：令和2年9月～10月



多くのご回答、まことにありがとうございました

防災まちづくりワークショップを開催しました

ニュース第2号にて、「防災まちづくりワークショップ」の参加者を募集したところ、多数のご応募をいただいたため、12月の会は午前と午後の2組に分けて開催しました。

当日は、防災まちづくりアンケートの集計結果の報告、参加者の皆さまとのグループワーク、参加者同士の情報共有など、闊達な意見交換が行われました。

ワークショップの概要

【日時】令和2年12月5日（土）
午前の部：9時30分～12時
午後の部：13時30分～16時
【場所】富士見台地区区民館



区から事業内容や地区の現況に関する説明を行いました。



狭い道が多く、木造住宅が密集する場所では、燃え広がりが懸念されます。



通学路として使われている道路にも、狭い道が結構あるそうです。



災害時、避難路上に車両が立ち往生したらどうしよう、と心配する声が聞かれました。

アンケートの集計結果とワークショップで頂いたご意見を紹介します

みなさんが考える地域の避難路と課題がわかってきました!!

想定避難路と避難時の心配ごと

アンケートでは、当地区在住者のうち、主に富士見台2丁目、南田中3丁目の方から石神井東小に避難したいとの回答がありました。

避難所の入口につながる道が、ちゃんと通れるかな

アンケートでは、当地区在住者のうち、主に富士見台1丁目の方から南が丘小に避難したいとの回答がありました。

南北方向の避難路を確保しておきたい

通学路沿いのブロック塀が倒れないか心配

車と歩行者の利用が多い道は、災害時に避難路として使えるか不安

少し狭いけど、安心して歩ける道

車も通るから、いつも気にしながら歩くようにしています

災害時に備えて、地域の避難路となるルートをしっかり押さえておこうと思う

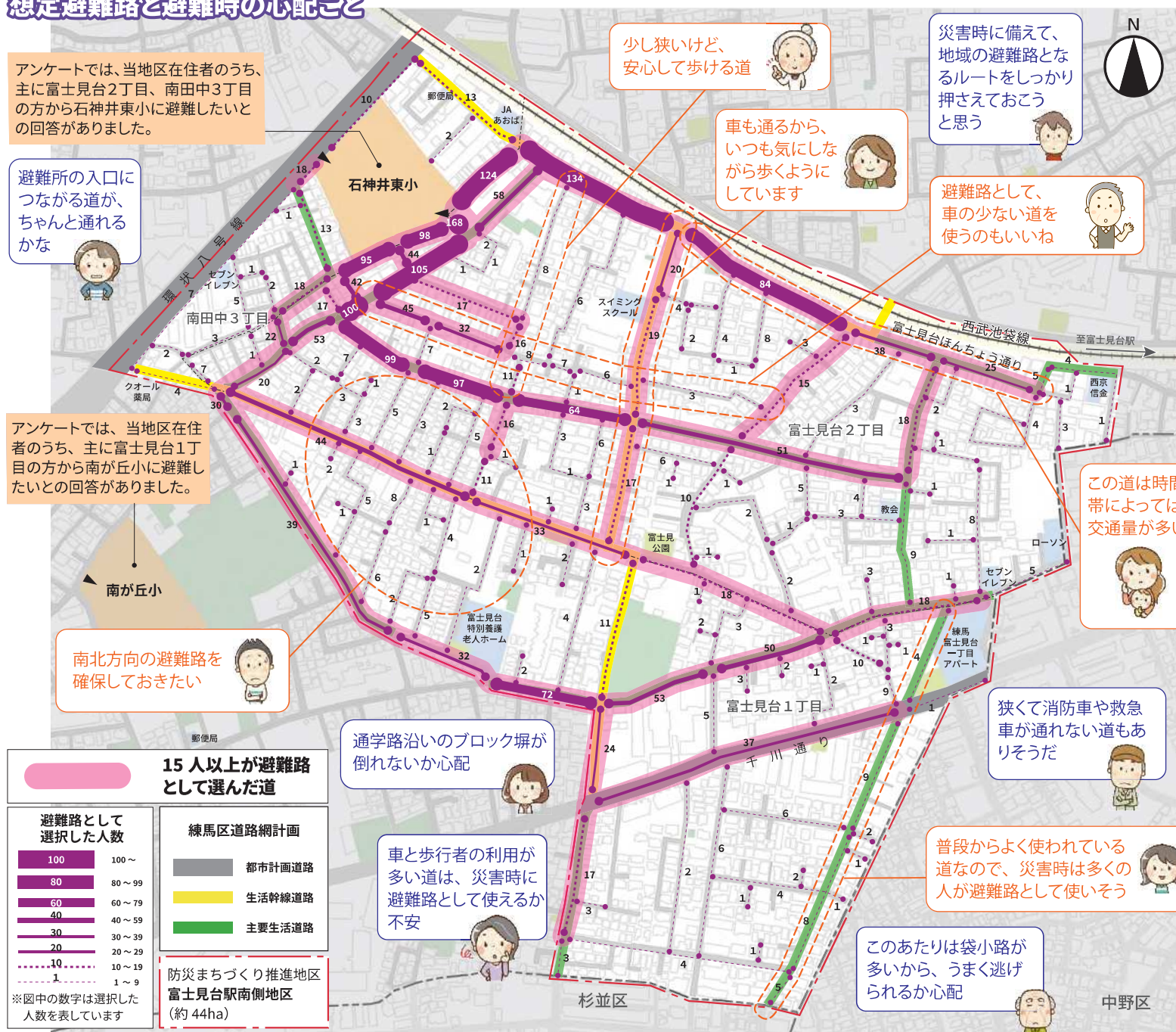
避難路として、車の少ない道を使うのもいいね

この道は時間帯によっては交通量が多い

狭くて消防車や救急車が通れない道もありそう

普段からよく使われている道なので、災害時は多くの人が避難路として使いそう

このあたりは袋小路が多いから、うまく逃げられるか心配



防災上の心配ごとなど

延焼

- 古い家が倒壊したり、燃え広がりが心配だ
- 電線やガス管の破損による火災が心配だ
- 防火規制の導入に期待する

避難路

- 狭い道路が多いので、緊急車両が通れるか心配だ
- 建て替えが進んでいるところは、避難の際も安心して通れる
- 近所に古いブロック塀が多いので不安だ

その他

- 近所との関係が希薄なので、助け合いに不安がある
- コンビニの駐車場や農地などの広い場所を災害時の緊急的な避難場所として活用してほしい
- 避難訓練や避難に関する情報発信をしてほしい
- 地域における火災の延焼シミュレーションが見たい

今回のアンケートやワークショップを通じていただいた情報やご意見を踏まえて、地域の避難路の指定を行っていきます。

指定した沿道で「逃げ遅れないまち」「燃え広がらないまち」の実現に向けた取り組みを進めていきます。

